

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 新任職員ガイド

- 4.5 トピックス 退任のことば
- 2.3 トピックス 退任のことば
- 3 視点 2008粟島 島びらき 5/2～6開催
- 3 ひろば 御衣黄ざくら
- 6 実践記録シリーズ 「郷土学習（食育）教室」～郷土を愛する心を育む～
- 7 サークル交流 朗読と共に（新潟市）／よさこい踊りに夢中！（長岡市）
- 7 素顔拝見 宮内 勝也さん（五泉市）／小川 和夫さん（上越市）



「花まつり・ゆざわ」湯沢町

表紙解説 毎年4月29日に開催され多くの人でにぎわう「花まつり・ゆざわ」の1コマです。
 遠くの山々に残雪が望める新緑の中、枝垂桜の下家族でのんびり。

今年の人事異動に伴う当会役員 退任のことば

『県公連の一層のご発展を祈念』

今年も人事異動により8名の役員の方々がご退任されることとなりました。ご退任に当たって左記の項目によりおことばをいただきました。

- ①異動内容・異動先等
- ②在任中、印象に残った事業、事柄等
- ③退任に当たって贈ることば(市町村合併後への提言等)

①定年退職

②三年間の在職中、市町村合併は、難儀とい

うよりも多くの人達とめぐり逢う機会となり、しかも人間形成の学習をしながら給料をもらえるという誠に稀有な職場経験をさせていただきました。

③励ますということは、いつの時代にも人を幸福にしてくれます。学習は人の本能と言われる以上、公民館は、集いそして快適な学ぶ場所を提供し続けることはもちろん、共に励まし向上して行って欲しいものと思います。



前副会長
土田 真照

①定期異動

産業観光部 産業振興課 上越市消費生活センター 所長

②上越市が平成17年1月に周辺13町村と合併して3ヵ月後の4月から3年間公民館の仕事をしていただきました。公民館は初めての職場であり、広域になった公民館事業や施設の管理など難しい課題が多くありましたが、公民館に携わりいろんな人との出会いや交流があり大変よかったですと思っています。特に18年の前橋市で開催された関プロ大会の分科会では「ボランティアの育成と支援」と題して当市が司会進行と発表を行い、公運審委員の山本教授から助言者としてまとめ上げていただいたことや、本年2月13日の片野先生を講師にお招きした研修会は大変印象に残っています。

③市町村合併に伴い行政改革が進み、公民館の統廃合やコミュニティセンター化など厳しい状況にありますが、地域づくりや人づくりなど公民館の役割がますます重要になってきていますので、公民館職員の斬新な発想と活躍で新しい時代にふさわしい公民館像を作っていただくよう期待いたします。

また、第59回県公民館大会は上越市で開催されますので、大勢の皆さんの参加をよろしく願います。



前副会長
星野 正行

①定期異動
南区健康福祉課長

②市町村合併や財政難、自然災害により公民館のあり方が問われていること。

③3年間皆様のご指導、ご支援によりなんとか職務を終えることができました。ありがとうございました。これからも厳しい状況が続きますが、前向きに問題解決にあたってください。住民の活動を支える公民館職員の仕事は地味な仕事です。公民館の本当の価値を知らない人もたくさんいます。しかし、その功績、力は十分評価に値するものです。これからも「目立つ黒子」としてがんばってください。



前会長
三保恵美子

①定期異動
総務課長

②平成17年4月1日、5市町村が合併して新十日町市が誕生しました。

新市教委事務局に生涯学習課が置かれ、公民館についても中央公民館はじめ11の地区に公民館が配置され、30名以上の正職員を擁する大組織となりました。

実感したのは、旧自治体が各々の方針のもとに取り組んできた公民館活動をひとつにまとめることの難しさでした。

③これからは市を挙げて地域自治・協働を進めなければならない時代になります。公民館がリーダーシップを発揮する時です。



前評議員
上原 伸一

①退任

平成15年3月、市役所退職後、勤労青少年ホーム館長3年、公民館館長を2年間在職して退任。

②市役所在任中は、主に現場を持つ部局におり、公民館活動は初めてであり、しかも就任早々県公民館大会を受け持つこととなり、大変緊張しました。しかし、多くの仲間にも恵まれ、公民館は楽しいところと位置付け、自分自身が楽しみ、千客万来の精神に徹してきました。

③年々厳しくなる市町村の財政事情、その嫉寄せはソフト事業にのしかかってくるように思われます。そのためは、公民館をより有効活用いただくことが大切と考え、いろんな事業の見直しに勇断を持って取り組むことが必要と考えます。特に、従来からの各種講座等は、古参がひしめいており、新人が入会しにくい状況も見受けられ、思い切った新陳代謝が必要と思われれます。公民館事業はもとより、全て行政の仕事は、役所の目線ではなく、市民や利用者の目線に立つことが基本であり、最も大切だと思います。短い間でしたが沢山の方々との出会いがあり、また、お世話になりました。ありがとうございました。



前監事
金箱 貞夫

①異動 教育委員会教育次長

教育総務課長事務取扱
②合併して3年、それ以前も7年、合わせ

て10年間公民館の職務を担当して参りました。その間多くの方々と交流をさせていただいたことが私の中で大きな財産になっています。

③合併して組織が大きくなったが故に身近な公民館活動が重要になっています。市民との協働の力が地域づくり、その結集がまちづくりに繋がるものと考えています。今後の県公連の発展に心よりエールを送ります。



前理事
山岸 洋一

視点

2008 粟島 島びらき 5/2～6開催

粟島浦村教育委員会 本保 敦子



粟島の春を告げる一大イベント「島びらき」が今年で二十一回目を迎え、五月二日から六日まで開催される。まだ訪れたことのない方へほんの一部ご紹介いたします。

まずはメインイベントの五月二日、三日、岩船九時発の高速船「あすか」と、十時発のフェリー「あわしま」に乗船されるお客様に、切符購入の際とれたての魚や竹炭商品などが当たる抽選券を差しあげます。フェリーが粟島に着する頃、漁船が大漁旗を掲げ海上パレードで観光客を出迎えます。また、港では地元

の女性たちが円陣になって粟島の郷土民謡「粟島さつこい三下り」を踊り、華やかさを添えます。その後、歓迎セレモニーが行われ、保育園児や小中学生の踊りを添えて、いよいよ抽選会が始まります。ドキドキしながら今か今かと待っている瞬間です。5kgクラスのタイやヒラメ、ブリなどが用意されており、キャーキャーと喜ぶ顔、声が港中響きわたります。

さあ、この感動をあなたも味わってみてはいかがでしょう。お待ちしております。

- ①定期異動 市民課長
- ②6年間の在職でありました。この間、隣り町との合併を経て様々な事業を体験し、多くの思い出が去来します、多くの人と出会い、学ぶ事ができました。このことは今後の私にとっても貴重な財産であると思います。



前評議員 熊倉 文男

③情報機器の急激な発展は人間関係の希薄化を招いています。このような時代であればこそ、地域づくり、人づくりの拠点として公民館活動が大きく期待されるのではないのでしょうか。

関係される皆様方のますますのご活躍をご祈念いたします。

- ①退任
- ②在任中全国公民館研究集会に3回参加させていただいたこと。



前評議員 高橋 雄平

昨年、村岩公連が主管で開催予定の県公民館大会が、中越沖地震のため紙上大会に変更しなければならなかったこと。

③4月1日から新村上市となりましたが、旧5市町村に地区館が設置され、地域の方々の生涯学習、公民館活動が実施されますが、この度合併出来なかった2村との連絡会を昨年村岩公連の理事会で立上げました。

是非とも新市になっても合併前の仲間づくりの良さをこれからもつなげていっていただきたい。

ひろば

御衣黄ざくら

五泉市公民館運営審議会委員 渡辺 照男

秋が過ぎ去ろうとしている頃だった。私の所属する村松デイサービスセンターの昼休みで、桜談義が始まっていた。

「村松と言えば、桜だね。」
「この桜は、公園の染井吉野が白っぽくなくても、鮮やかに紅色を保つんだよ。」利用者の方々が、素敵だと喜んでくれるんだよ。」
「そう言えば、あの黄緑色の花びらの桜は、本当に珍しいよね。」
「何と呼ぶ桜なんだろう。」
ヘルパー主任の熊倉さんが、「会長さん、黄緑色の桜の名前を知っていますか。」と。

とうとう、私にお鉢が回ってきた。早速、公民館へ出向いた。当時併設され

ていた図書館で、牧野博士の植物図鑑を調べたが見つからず、止むなく担当の方へ伺ってみた。即座にパソコンを叩いて「御衣黄ギイワウ」を取出してくれたのには驚いた。そこには、花弁が十二から十四枚の八重桜で、昔の貴人が好んだ鶯色の気品ある衣に似ている故の命名だとのこと、誠に心憎い発想ではある。

当の図書館と職員は、三月二十六日に、村松図書館の名で独立して、活躍中である。



員ガイド

さらに付け加えるならば、自治体の職員は若いうちに公民館勤務を経験することによって政策立案能力が形成され、市民と協働する力量を培っていくことができます。私は多くの職員が公民館勤務を経験することが地方分権にとって重要だと感じています。

すなわち公民館は、仕事を通じて自分を磨くことができ、市民と感動を味わえる唯一の職場なのです。

※参考資料として

以前講演会で、宇都宮大学の廣瀬隆人教授が演題「公民館の未来を探る」の中で、公民館（職員）自身も自らふりかえり、気づくことが必要な観点として以下の項目を挙げています。

- ①自分のものではないのに「貸してやる」という態度と意識
- ②サービス精神に欠ける対応
- ③不潔で汚い施設
- ④挨拶もしない暗い雰囲気
- ⑤禁止表現ばかりの掲示物
- ⑥破れたままの期限切れの掲示物
- ⑦物置と見まごうような雑然とした施設
- ⑧何ヶ月も貼付されている「調整中」「故障」の札
- ⑨かび臭い図書
- ⑩仕事を面倒くさがる職員

以上を指摘しております。これらのことは、常に意識していなければ自己変容ができませんし、私はこの事を管理運営の基本としています。



冬休み

4. 公民館職員はスーパーマンか

新潟県内でも市町村合併が進み、大面積の市町が増えました。さらには職員の削減も進んでいます。そのため、公民館（職員）の守備範囲が非常に広くなりました。

また、今日私達を取り巻く社会はますます複雑化し、様々な深刻な問題を引き起こしています。例えば、食の安全、子どものいじめや虐待、医療や年金などの緊急性のある問題から、地球環境や戦争と平和の問題まで山積みになっています。これらの問題に対して公民館だけで学習の対応することは職員体制からして無理があり、可能としても限られた公民館でしかできないと思います。

しかし、これらの課題に対して職員一人一人が意識を高め、自ら学習する意欲を持つことが、これらの問題解決、取り組みの糸口になるので、課題として実践しながら、向き合っていく姿勢が大事だと思います。

毎月発行される「公民館月報」の職員を紹介する「素顔拝見」の記事を読むと公民館職員はスーパーマンかと思うことでしょう。

公民館事業は機械化できません。一つ一つ手作業で（自分の頭で）積み上げていくしかありません。だから経験の浅さは先輩職員から学んだり、先進的な取り組みをしている他の公民館から積極的に学ぶことも重要であります。勿論自ら学習する事も忘れずに！。そうすれば一年も経たないうちに必ずスーパーマンになっています。なぜなら公民館は皆さんを支える人達で成り立っている施設だからです。

5. 最後に

公民館職員として、笑顔で元気良くあいさつをして、何にでも興味をもち、学習する。

とにかく「一歩前に」の気持ちを忘れずに、何か一つ特技（趣味）を持つことも大事だと経験からいえます。とにかく、人と公民館を好きになってください。

新任の皆さんを先輩公民館人として歓迎するとともに、心からご活躍をお祈りいたします。

特集

新任職



加茂市公民館
館長 佐藤 俊夫

1. はじめに

平成20年度のスタートが公民館から始まることはすばらしいことであります。

公民館に勤務したくて着任した人、人事異動や新採用で職場が公民館だった人、あるいは公民館に再び戻った人などそれぞれに違いがあるにせよ、「公民館」はすばらしいところであります。

この新任職員ガイド執筆にあたり、公民館人としての基本的なことは、(社)全国公民館連合会発行の「月刊公民館」の4月号と5月号で詳しく解説されており、参考文献も紹介されております。また、新潟県公民館連合会発行の冊子「新任職員のための道しるべ」が各公民館に備え付けられているはずですので、ご一読いただければ公民館のことは理解できますので、そちらに譲りたいと思います。

そこで今回は、私が公民館で過ごした九年間で感じたことや必要なことを述べてみたいと思います。

2. まず公民館職員として大切なこと

最初に、公民館職員は一に“あいさつ”、二に“あいさつ”であります。これが出来れば公民館入門は合格です。

私は自治体職員としてこれまで土木職の経験しかありませんでしたので、応対する住民などは限定された経験しかありませんでした。

しかし、公民館は子どもから高齢者までいろいろな年代の人達が訪れます。そのために来館者に声を掛ける、つまり“あいさつ”することが極めて大切であり、笑顔で声をかけることが付き合いの始まりになります。だれでも最初は、公民館がわからない、人を知らないことから苦勞すると思いますが、ガンバッテ実行してください。

次は、相手の話を聞くことです。それは直接で

も電話でもそうです。このことで相手を理解することができることは勿論ですが、その会話の中から講座のヒントや公民館利用者の生の声が聞け、大変参考になることがあるからです。しかも、公民館からの情報も発信できます。

この二点は当たり前ですが、非常に大切なことであります。私達が他の施設を訪れたときに、お互いにあいさつをし、会話することができたときは、それだけで好印象をその施設に対していただきます。

第3点目は、常に研鑽を積むことです。

公民館を訪れ利用する人は、目的を持って来館します。その人達の応対をするには自らが学習するしかありません。私達の本務は自己研修と積極的に研修会や交流の場に参加し、情報交換や交流の努力をすることです。

3. あなたはツイています

“新しく公民館にきたので、これから勉強します”、“一年生ですのでわかりません”とかは通用しません。皆さんは即戦力として期待されており、事業・講座が待っています。この号が読まれるころはすでに運営に携わっているかもしれません。

そこで、講座などを企画する場合に気をつける大事な点があります。それは、昨年度と同じ事業、同じフロロピイ、同じフォルダから開かれるプログラムではなくて、自分の言葉でプログラムを作成していくことが大切であります。このことが講座の担当者として自信を持って運営できるからです。



ソフトドッジボール大会

実践記録 シリーズ 122

「郷土学習(食育)教室」～郷土を愛する心を育む～

糸魚川市 糸魚川地区公民館 主事 安田 恵子

○はじめに

糸魚川地区公民館では、子どもを対象に様々な事業を展開していますが、平成16年度から一年を通じ参加者を固定した事業の取り組みを始めました。

糸魚川地区公民館区域内にある小学校2校を対象に、学年を超え協力し共に学ぶことに力を入れ事業を推進しています。

1. 目的

地元の方を講師に、地域の食材について学習し、その良さを認識することで郷土を愛する心を育む。

また、食について学ぶことで、子どもたちから良い食生活の習慣を身につける。

2. 募集

糸魚川地区公民館区域内2校の小学校へ、全児童を対象としてチラシを配布(定員25名のところ予想を上回る申込みがあり、スタッフの確保が難しいため断らざるを得なかったのは残念であった。)

3. 構成人員

参加者：小学1年生から6年生の男女25名

スタッフ：講師1名・アシスタント7名・中学生ボランティア2名・事務局2名の12名 計37名

4. 学習内容

月 日	内 容	備 考
19. 6. 2	お店見学 魚からかまぼこができる過程について学習 魚のアラを使って味噌汁作り	鮮魚店・かまぼこ店見学
19. 7. 21	海の魚 刺し網の魚を網からはずし、魚をさばき浜汁作り	市振漁港
19. 10. 14	川の魚 (鮭) 内水面漁協の方から鮭について話を聞き、鮭の捕獲を体験し、その鮭を使い料理に挑戦	田海川
19. 12. 15	餅つき 地元協力員と、杵と臼を使い餅つきを体験 ついた餅でお雑煮作り	青少年ホーム
20. 2. 16	異世代交流 地元の食材でトン汁作り	シニア男の料理教室(高齢者)と共催

班編成：6班(子ども4～5人・スタッフ2名)とし、5回とも固定

5. 事業の成果

- ・食材について生産者から話を聞き、実際に手で触れ、それを使って調理をする。一連の流れを体験することで、地域の食材と食の安全安心に関して興味を持つことができた。
- ・小学1年～6年までの子どもたちが、教室の回を重ねることで学年の垣根を超え、いたわりの心や協調の精神が養われた。

6. 今後の課題

- ・小学生を対象とした屋外での事業のため、安全の確保と、それに慣れたスタッフ(学校教師や保育士など)の確保が難しい。
- ・近年の気候の変化で地域生産者との日程調整が難しく、予定が立てにくい。

以上の悩みを抱えつつ、子どもたちの輝く顔を見ると、次年度も何をしようか意欲が沸く事務局です。



鮭の捕獲体験



鮭料理に挑戦

朗読と共に

朗読「四季」

教室では、とても情熱的で熱心な先生を中心に、一人一人個性あふれる声が響き渡り、二時間がアツという間に過ぎてしまいます。

日ごろの成果を舞台で仲間と力を合わせ、図書館祭りや公民館の文化祭、芸能祭には積極的に参加しています。今年も新潟市民プラザホールでのフェスティバルに向けて、藤沢周平原作「踊る手」を群読しようと一生懸命練習中です。どうぞ聞きに来て下さい。またボランティア活動では



人々との出会い、ふれ合いも大切に行っている事の一つです。朗読を通して文学作品の一端に触れることができるのも大きな魅力。聞いて下さる人々の心に、作者の思いが届きますようにと心掛けています。

新潟市

朗読「四季」

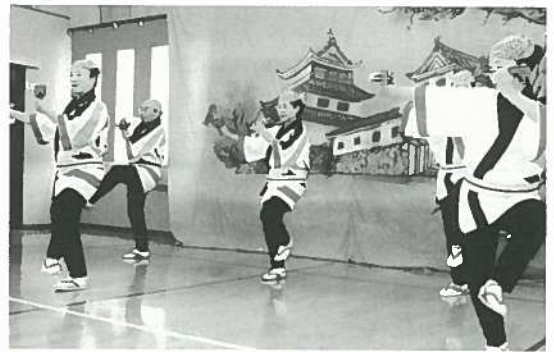
笠原 悦子 記



よさこい踊りサークル

よさこいNAGAOKA

中高年でも楽しめる「よさこい踊り」を目指し、5年前に結成されたサークルです。現在は、おじさんおばさん集団に若者が加わり、老若男女25名で活動しています。毎週火曜日に集まり、鳴子



の音も賑やかに、世代を超えて共に汗を流し、刺激し合い楽しく踊る様子は、微笑ましくもあります。

結成以来、県内外の祭りやイベント、施設等で、練習の成果を披露しています。

これからも、各種会場に繰り出し、特注の旗や提灯の演出効果を味方にして、見ている方が元気の出る、そして一緒に踊りたくなるような、楽しい踊りを発表していきたいと思っています。

長岡市

よさこいNAGAOKA

堀口 明美 記

五泉市からは生涯学習課6年目の大ベテラン、宮内主査を紹介し、6年間で生涯学習のあらゆる分野を経験して得た知識の深さは、今や我が課の柱。沢山の事業をさくさくとなし、周りへのフォローも自然に入ってくれます。

そんな一見真面目そうな宮内主査、実は話をしても普通に冗談で笑わせてくれたり、この写真



五泉市生涯学習課

主査 宮内 勝也さん

素顔 拝見

我が上越市公民館の重鎮、小川係長。その迫力ある風貌からは想像もつかないほど、ユーモアたっぷりな親切な対応は、幅広い世代から親しまれています。様々な講座にも積極的に携わって下さり、どの講座でも人気者。

特に、「子ども囲碁教室」では企画運営のかわら、自らも講師として参戦、講師団をも唸らせるほどの実力の持ち主。でも、子どもが相手になると優しい



上越市立公民館

係長 小川 和夫さん

いおじさん先生に変身!

今の上越市公民館を取り巻く環境は、とても厳しい状況にあります。コメ作りと柔道初段で鍛え抜いた力と技で、様々な困難も難なく突破していく、頼れる係長です!!

ちょっと強面だけど、実はチョー優しい小川係長に会いに、ぜひ高田地区公民館にお越し下さい。

(上越市立公民館 主任 池田謙治 記)

もわざわざポーズを決めてくれたり、人を笑わせるサービス精神にも頭が上がりません(笑)。

最後に「仕事に対して一言」との問いに「因果応報だね」との応答…。何で?と突っ込みたくなるのですが、そんなこといわずに今後とも宜しくお願いします!!

(五泉市生涯学習課 高橋望美 記)

event information

平成20年6月の
催し物ご案内

もうすぐ梅雨入り！気分を変えて科学館

いろんな不思議が待ってるよ！

サイエンスボランティアによる工作教室

ぶんぶんコマで遊ぼう

ひもを引っばると、ブーンと音をたてて回るコマを作ります。

■日 時 6月1日(日)
①13:00 ②14:00
③15:00

■場 所 サイエンスラボラトリー

■定 員 各回当日先着24名

■参加費 入館料の他に50円

花木園であそぼう

四季おりおりの花や樹木を楽しむことのできる屋外展示場「花木園」でネイチャーゲームを行います。ご家族で参加してみたいですか？

■日 時 6月22日(日)
13:00~14:30

(悪天候時、館内にて実施)

■場 所 花木園

■定 員 当日先着30組

■参加費 無料

君はもう 行ってみた？ ナイトミュージアム 6月27日(金) 17:00~21:00

昼間とは、ちょっと違った夜の科学館を楽しもう！

夜の実験教室

「ホタルのおしりはなぜ光る？」

ホタルの発光のしくみを薬品を使って紹介します。

人工のホタルの光の海を作りましょう！

■場 所 1階講堂

■時 間 1回目18:00~

2回目19:00~ 3回目20:00~

■定 員 各回50名

■参加費 無料

サイエンスコミュニケーターの科学実験

「塩のおもしろ実験」

水に塩、鉄粉に塩。同じ塩をかけるのに、起こる現象は…

■場 所 サイエンスラボラトリー

■時 間 18:30~

■参加費 無料

★見学希望者多数の場合は入場整理をさせていただきます

プラネタリウム休止のお知らせ

ドーム修繕と機器の改修のため 5月13日(火)~6月13日(金)と、夏番組入れ換えのため 6月17日(火)~20日(金)は放映を休止します。なお、6月14(土)・15日(日)は通常通り放映します。

プラネタリウム 夏番組 むしむし星空大行進 6/21(土)~9/7(日)

NIIGATA SCIENCE MUSEUM 新潟県立自然科学館

〒950-0948 新潟市中央区女池南3丁目1番1号

電話：025-283-3331 ファックス：025-283-3336

テレホンサービス 025-283-3333 URL <http://www.lalanel.gr.jp/nsm/>

新潟県立自然科学館 検索

恵贈資料紹介

はぐくみネットワーク 第3集

「はぐくみネットワーク」第3集が刊行されました。次の内容で構成されています。

I 「社会全体で子どもをはぐくむ運動」地域の事例

※家庭教育支援、地域の教育力再生、子どもの居場所づくりの活動(37事例)

II 新潟県地域家庭教育推進協議会事業(7事例)

III その他特色ある事例(6事例)

IV 資料編(市町村などが取り組んだ事例)
合計50事例が詳細に紹介されています



新潟県地域家庭教育推進協議会
れており、公民館などで活動している団体やサークル、PTAや保護者会、子どもたちのために何かしたいという方などのヒントになるように作られています。

この他に、「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の紹介、家庭での子どものかかわりがチェックできる内容の家庭向け啓発チラシも作成されています。

なお、事例集、啓発チラシともに在庫があるようですので、ご利用希望の方は左記にご連絡ください。

◆問合せ・連絡先
新潟県地域家庭教育推進協議会事務局(新潟県教育庁生涯学習推進課青少年家庭教育係)
電話025-280-5617
(内線) 3895

あ と が き

五月は例年諸会議が目白押しです。県公連理事會・評議員会、関フ口公連理事會、中・下公連評議員会等が予定されており、開催地は上越市を中心に、上越地域三市公連の組織連動の下始動し、近々開催案内も予定通り送付できそうです。多数の方の参加申込みを期待しております。(相澤 記)

土砂災害防止月間

～ みんなで防ごう土砂災害～

毎年6月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進します。

新潟県治水砂防協会

会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609